

# 谷本真人総長が逝去

## 享年82歳 本学とともに歩んだ60年

### しめやかに葬儀・告別式

教育を天職として本学とともに人生を歩み、本学の発展に尽くした谷本真人総長が4月25日午後9時5分、入院中だった枚方市の関西医科大学付属病院で、すい臓がんのため永眠した。82歳だった。葬儀、告別式は28日午前11時半

から、枚方市山之上東町1-1の公益社枚方会館で執り行われた。喪主は妻の谷本榮子・理事長。後日、大学葬が行われる。日時などは未定。葬儀の祭壇には、位牌の両脇に旭日



中継章と藍綬褒章が飾られた。開式に先立って経歴を紹介するナレーションが会場に流れ、しめやかな読経で始まった。高校生のころから谷本総長に教えを受けた本学理事の片山智行・国際言語学部教授は「きまじめで律儀に、重責を果たされました。その卓見と志の高さは後々まで私たちの記憶に残るでしょう。先生、安らかに眠りください」と弔辞を読み上げた。長年の付き合いがあった歯科医師で枚方ライオンズクラブの植木稠・元会長は弔辞の中で、「社会奉仕活動にも熱心でした。旭日中継章のパーティーでお元気を拝見したのに……」とエピソードを交えてお別れを告げた。政治家や教育界、経済界などから数多く届いた弔電も披露された。

葬儀・告別式には、竹内脩・枚方市長をはじめ、文部科学省、私立大学協会など各界の名士や地元の方々、教職員OBら約500人が参列、焼香した後、喪主で妻の榮子理事長は「多くの困難、苦勞を乗り越え、初志を貫き通した、

### 学部創設や中宮移転などに手腕

谷本総長は1928年4月、岡山市生まれ。49年3月、旧高松経済専門学校（現香川大学経済学部）卒。岡山県立西大寺高校教諭を務めた後、53年3月、旧大阪商科大学（現大阪市立大学）を卒業し、学校法人万代学園（現学校法人関西外国語大学）理事に就任した。

その後、関西外国語短期大学の助教授、教授を務め、66年4月、関西外国語大学副学長兼短大副学長に就任。80年9月、学校法人関西外国語学園（92年4月、学校法人関西外国語大学に名称変更）理事長に就任し、大学学長と短大学長を兼務。2007年4月から初代総長を務めていた。

谷本総長は1950年から数えて60年。谷本総長の人生は本学の歴史と軌を一にしてきた。万代学舎から穂谷学舎への移転や片鉾学舎建設で陣頭指揮を執ったほか、96年の国際言語学部創設、2002年の中宮学舎開設で、多くの功績を残した。

教育界にも大きな足跡を残している。91年から大阪私立短期大学協会会長、92年4月から日本私立短期大学協会副会長を歴任。84年4月に藍綬褒章（私学教育振興）、2006年4月に旭日中継章を受章した。



柩は中宮・セントラルガーデンを一周。本館玄関前で教職員の見送りを受けた。

中宮キャンパス(大学院・大学・短期大学部)  
〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1  
TEL. 072(805)2801

穂谷キャンパス(大学)  
〒573-0195 大阪府枚方市穂谷1丁目10-1  
TEL. 072(858)0021

関西外国語大学	大学院	外国語学研究所	英語学専攻博士課程前・後期
	外国語学部	英米語学科	言語文化専攻博士課程前・後期
	留学生別科	スペイン語学科	
	国際言語学部	国際言語コミュニケーション学科	

関西外国語大学短期大学部	英米語学科
--------------	-------

関西外大の最新ニュースはホームページにも掲載しています  
<http://www.kansaiuidai.ac.jp/>

## 谷本貞人総長の経歴

- 1928年4月3日 岡山市で出生
- 1941年4月 岡山県第一岡山中学(現県立岡山朝日高校)入学
- 1946年4月 旧高松経済専門学校(現香川大学経済学部)入学
- 1949年4月 岡山県立西大寺高校教諭
- 1950年4月 大阪商科大学(旧制、現大阪市立大学)入学  
関西外国語学校教諭
- 1953年3月 大阪商科大学卒
- 1953年4月 学校法人万代学園(現学校法人関西外国語大学)理事に就任
- 1959年9月 関西外国語短期大学助教授
- 1965年4月 関西外国語短期大学教授
- 1966年4月 関西外国語大学副学長兼短大副学長兼教授
- 1978年5月 日本法政学会理事(2003年11月まで)
- 1980年4月 米・ガスタバス・アドルフ大学から名誉法学博士号(Doctor of Laws)
- 1980年5月 文部大臣表彰(短大教育振興功労)
- 1980年9月 学校法人関西外国語学園理事長、関西外国語大学学長兼短大学長
- 1984年4月 藍綬褒章(私学教育振興功労)
- 1984年5月 米・ファーマン大学から名誉法学博士号(Doctor of Laws)
- 1991年4月 大阪私立短期大学協会会長
- 1992年4月 日本私立短期大学協会副会長
- 1996年2月 米・ユニオン大学から名誉法学博士号(Doctor of Laws)
- 2006年4月 旭日中綬章(私立学校教育振興功労)
- 2007年4月 関西外国語大学総長

参列者にあいさつする喪主で妻の谷本榮子理事長(中央)



教職員も通夜でお別れ



導師を先頭に出棺



供花で埋めつくされた玄関で次々に受付へ向かう会葬者



「安らかに」。手を合わせる親族ら



葬儀・告別式を終え、斎場へ

「教育への情熱」引き継ぎます

## 弔辞(要旨)

学校法人 関西外国語大学理事  
片山 智行

谷本貞人先生、深い悲しみを込めて、最後のお別れの言葉を申し上げます。思えば、先生と最初にお会いしたのは、半世紀余も前、岡山県の高校においてでありました。当時、先生は、

ていた伯父夫妻に懇請され、大学に通学する傍ら、短期大学設立の準備に全力を傾け、生真面目に、律儀に仕事をこ

「安らかににお眠りください」

という平和への希求を、建学の精神の原点とし、国際交流に力を注が

た。当時、先生は、飄爽とした青年教師、私はその高校の二年生でした。先生は、生徒をわけ隔てなく指導され、多くの生徒に慕われておられました。その先生が心機一転、

なし、艱難辛苦して関西外国語短期大学を立ち上げられました。先生は学校経営に才能を発揮され、粉骨碎身の努力をなさいました。関西

れました。その結果、世界の300以上の大学と交流協定を結び、毎年大勢の留学生を海外に派遣し、大勢の外国人留学生を本学に受け入れております。

更なる飛躍を求めて大阪商科大学に進学されました。当時、



半世紀にわたる思いを込めて弔辞を読み上げる片山智行理事

短期大学で出された本学は、先生のご指導のもと、四年制の外国語大

派に、十二分に任務を果たされました。いまはゆつくりと、安らかにお眠り下さい。